

学校栄養職員の行う個別指導について調査集計結果

(社)全国学校栄養士協議会

平成13年5月現在

調査人数 9,383人

	12年度	%
1. 子供たちの食生活等の実態把握の方法(複数回答)		
(1) 年間に学校経営等で計画的に食生活調査等を実施	682	7.3%
(2) 学級担任に依頼して家庭の食生活調査等を実施	1,928	20.5%
(3) 養護教諭の健康管理から見た情報を取得	4,375	46.6%
(4) 保護者に直接,学級・学年PTA等で食生活調査等を実施	973	10.4%
(5) 地域の婦人団体,青少年団体等を通じて情報を取得	193	2.1%
(6) 地域の保健所の管理栄養士から情報を取得	507	5.4%
(7) その他	675	7.2%
2. 個別指導の実施状況		
(1) 指導している	2,943	31.4%
(2) 指導していない	5,707	60.8%
3. 個別指導の内容(複数回答)		
(1) 食物アレルギー	1,662	17.7%
(2) 生活習慣病		
肥満	1,179	12.6%
糖尿病	230	2.5%
貧血	237	2.5%
その他	242	2.6%
(3) 偏食	1,088	11.6%
(4) 家庭の食事(献立,調理法)	535	5.7%
(5) 食品の選択方法	432	4.6%
(6) その他	122	1.3%
4. 個別指導の方法(複数回答)		
(1) 児童生徒への指導		
定期的に相談日を開設	239	2.5%
給食時間に指導	1,434	15.3%
随意に指導	1,733	18.5%
その他	303	3.2%
(2) 保護者への指導(複数回答)		
定期的に相談日を開設している	326	3.5%
定期的に連絡帳で指導している	398	4.2%
不定期に面接もしくは連絡帳により指導している	1,214	12.9%
その他	362	3.9%
(3) 指導場所		
相談室あり(ランチルーム含む)	156	1.7%
余裕教室等を利用	130	1.4%
5. 個別指導の形態		
(1) 学校栄養職員が単独で指導	1,230	13.1%
(2) 養護教諭と一緒に指導	923	9.8%
(3) 学級担任と一緒に指導	912	9.7%
(4) 学級担任,養護教諭と一緒に指導	541	5.8%
(5) 学級担任,学校医,養護教諭と一緒に指導	83	0.9%
(6) 保健所等の栄養士等と一緒に指導	40	0.4%
(7) その他	160	1.7%